

平成27年 第2回定例会

美 瑛 町 議 会 会 議 録

(第2号) 3月3日 開会

美 瑛 町 議 会

平成27年第2回美瑛町議会定例会会議録

議 事 日 程 (第2号)

平成27年第2回美瑛町議会定例会

平成27年3月3日午前9時30分開議

- | | | |
|-----|--------|-----------------------------|
| 第 1 | | 会議録署名議員の指名について |
| 第 2 | 議案第14号 | 平成27年度美瑛町一般会計予算について |
| 第 3 | 議案第15号 | 平成27年度美瑛町国民健康保険特別会計予算について |
| 第 4 | 議案第16号 | 平成27年度美瑛町老人保健施設事業特別会計予算について |
| 第 5 | 議案第17号 | 平成27年度美瑛町水力発電事業特別会計予算について |
| 第 6 | 議案第18号 | 平成27年度美瑛町白金泉源事業特別会計予算について |
| 第 7 | 議案第19号 | 平成27年度美瑛町公共下水道事業特別会計予算について |
| 第 8 | 議案第20号 | 平成27年度美瑛町水道事業会計予算について |
| 第 9 | 議案第21号 | 平成27年度美瑛町立病院事業会計予算について |

○出席議員（14名）

| | | | | | |
|-----|-----|---|-----|----|----|
| 1番 | 沢 | 尻 | 健 | 議員 | |
| 2番 | 森 | 平 | 真也 | 議員 | |
| 3番 | 佐 | 藤 | 晴観 | 議員 | |
| 4番 | 杉 | 山 | 勝雄 | 議員 | |
| 5番 | 斉 | 藤 | 幸一 | 議員 | |
| 6番 | 山 | 家 | 慶治 | 議員 | |
| 7番 | 花 | 輪 | 政輝 | 議員 | |
| 8番 | 八 | 木 | 幹男 | 議員 | |
| 9番 | 穂 | 積 | 力 | 議員 | |
| 10番 | 福 | 原 | 輝美子 | 議員 | |
| 11番 | 角 | 和 | 浩幸 | 議員 | |
| 12番 | 濱 | 田 | 洋一 | 議員 | |
| 13番 | 沼 | 田 | 成功 | 議員 | |
| 議長 | 14番 | 齊 | 藤 | 正 | 議員 |

○欠席議員

○出席説明員

| | |
|------------|--------|
| 町長 | 浜田哲君 |
| 副町長 | 塚田聡仁君 |
| 会計管理者 | 佐藤剛敏君 |
| 総務課長 | 石井典夫君 |
| 政策調整課長 | 鈴木貴久君 |
| 税務課長 | 太田茂夫君 |
| 住民生活課長 | 山田厚誠君 |
| 保健福祉課長 | 藤原悟君 |
| 保健センター所長 | 中島二郎君 |
| 保健福祉課参事 | 田中繁美君 |
| 経済文化振興課長 | 武井一真君 |
| 文化スポーツ推進室長 | 嵯城和彦君 |
| 農林課長 | 大西能正君 |
| 建設水道課長 | 三田村尚樹君 |
| 水道整備室長 | 今野聖貴君 |
| 町立病院事務局長 | 古本彰君 |
| 総務課長補佐 | 新村猛君 |
| 総務課財政係長 | 竹本匡志君 |
| 教育委員長 | 大西宣充君 |
| 教育長 | 千葉茂美君 |
| 管理課長 | 宮崎敏行君 |
| 図書館長 | 野崎千恵君 |
| 農業委員会会長 | 川崎章道君 |
| 農業委員会事務局長 | 東本浩昭君 |
| 代表監査委員 | 有富武君 |
| 監査事務長 | 今滝毅君 |

○書記

事務局長 後路 宜伸 君
係 長 高島 和浩 君

開議挨拶

○議長（齊藤 正議員） おはようございます。定例会もですね、いよいよ2日目でございます。今日はですね、町長からですね今年度骨格予算ではございますけども、予算の編成方針、演説等も頭に入れながらですね予算審査始まるわけでございます。今日は、特別委員会の立ち上げまでが予定しているところでございます。よろしくお願いいたします。

開議宣告

○議長（齊藤 正議員） 本日の会議を開きます。ただ今の出席議員は14人であります。本日の議事日程は、印刷物で配布のとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名について

○議長（齊藤 正議員） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第126条の規定によって、5番齊藤幸一議員と8番八木幹男議員を指名します。

日程第2 議案第14号 平成27年度美瑛町一般会計予算について

日程第3 議案第15号 平成27年度美瑛町国民健康保険特別会計予算について

日程第4 議案第16号 平成27年度美瑛町老人保健施設事業特別会計予算について

日程第5 議案第17号 平成27年度美瑛町水力発電事業特別会計予算について

日程第6 議案第18号 平成27年度美瑛町白金泉源事業特別会計予算について

日程第7 議案第19号 平成27年度美瑛町公共下水道事業特別会計予算について

日程第8 議案第20号 平成27年度美瑛町水道事業会計予算について

日程第9 議案第21号 平成27年度美瑛町立病院事業会計予算について

○議長（齊藤 正議員） 日程第2、議案第14号、平成27年度美瑛町一般会計予算についての件、日程第3、議案第15号、平成27年度美瑛町国民健康保険特別会計予算についての件、日程第4、議案第16号、平成27年度美瑛町老人保健施設事業特別会計予算についての件、日程第5、議案第17号、平成27年度美瑛町水力発電事業特別会計予算についての件、日程第6、議案第18号、平成27年度美瑛町白金泉源事業特別会計予算についての件、日程第7、

議案第19号、平成27年度美瑛町公共下水道事業特別会計予算についての件、日程第8、議案第20号、平成27年度美瑛町水道事業会計予算についての件及び日程第9、議案第21号、平成27年度美瑛町立病院事業会計予算についての件を一括議題とします。

予算編成方針について

○議長（齊藤 正議員） ここで、浜田町長から平成27年度予算編成方針について説明を受けます。

（「はい」の声）

浜田町長。

（町長 浜田 哲君 登壇）

○町長（浜田 哲君） おはようございます。昨日に続いての議会ということであります。予算編成、27年度に向けての予算を提案させていただきますので、よろしくお願いを申し上げます。骨格予算ということで執行方針ではなく、予算編成方針ということで提案させていただきますが、文章少し予算編成よりは短いですが、文章を読ませていただきますので、よろしくお願いいたします。

平成27年度予算編成方針について。第2回定例会に当たり、平成27年度の予算案並びにその要旨について申し述べさせていただき、本年度の予算についてのご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成23年に私が4期目の町長に就任させていただき、町民の皆さまが夢と希望を持っていつまでも安心して暮らし続けることが出来る住み良いまちづくりを実現するべく、町民の皆さま方との多くの対話や協働を重ねながら、また、町議会議員各位、関係機関団体の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、町行政運営に積極的に取り組んでまいりました。振り返りますと、この間、町財政の健全化を着実に図りながら町政各般にわたる施策、事業を実施することができましたことに対し、心から厚くお礼を申し上げます。

昨年暮れに大義無き衆議院議員総選挙が挙行され、自・公明与党は安定多数とされる3分の2を超える議席数を確保して第3次安倍政権がスタートいたしました。このことにより安倍内閣は、向こう4年間に渡って政権を維持しながらさまざまな法規制改革を断行し、より強固な政治運営にまい進する状況となっております。

昨年4月から実施された消費税率の8%増税による影響や11月からの電気料金の再値上げに伴い、未だ個人の購買意欲が乏しく、国内消費は依然低迷しており、さらには円安の影響を受け、国内食品企業では食品価格に転嫁して加工食品などを値上げする意向を示しております。一方、アメリカのシェールガスの生産稼働により中東原油産出国を始めとした国々の間では、

新たな原油価格を巡る混乱が広がり原油価格の下落が続いておりますが、国内向けにはエネルギーコストを下げ、家計や企業活動の負担軽減へと向かう恩恵は大きく、今後、個人消費が回復する期待感が高まりつつあります。

また、国内における自然災害の増加や地震、火山噴火などの災害事象も各地で相次ぐなど、いつ何時もどこの地域に災害が起こっても不思議でない現象となっており、住民の安全安心のために緊急事態に備えた防災施策が望まれております。

こうした時代における厳しい社会、経済情勢や自然災害が増加する中、本町においては、農林業を主幹とする持続可能なまちづくりを推進するべく、商工業・観光などが連携を深め、国内外の諸情勢に柔軟に対応できるたくましい地域の産業づくりに取り組みながら、日本で最も美しい村連合の活動などを通じた、丘のまちびえいのブランドを構築させ、さらに発信してまいります。また、関係機関や企業、大学等との連携による新たな雇用機会の創出をはじめ、社会資本の整備や教育、文化芸術さらには保健、福祉や介護、医療等の充実、生活環境、再生可能エネルギーを活用した施策や災害対策の整備強化など多様化するニーズに的確に対応しながら、住み良いまちづくりを築き上げなければなりません。

近年、高齢化、少子化の急速な同時進行により、地方の創生と人口減少問題の克服に向けた対策を講じていかなければならない中、自治体の置かれている条件の違いや持っている文化遺産、歴史など生活資源はさまざまありますが、本町の地域資源である農林業が織りなす素晴らしい農村景観を最大限活用したまちづくりを推進し、そして磨き上げ、日本で最も美しい村連合の活動の先頭に立って、町民の暮らしを守る充実させた施策を展開していく必要があります。

平成27年度の予算編成に当たりましては、これまでの取り組みを基本とし、行財政改革、事務事業のさらなる見直しを進めながら、必要性や緊急性、課題とされている事業等、財政の効率的な運営を図りながら、町民の皆さまが安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指しました。

本年4月には、町長並びに町議会議員の改選期となりますので、今定例会に提出した予算案は、経常的経費あるいは継続的な施策事業を中心に盛り込み、町民の皆さまにとって必要なサービスをはじめ、農林業、商工業などの産業振興や地域の経済活動への影響などを重視した骨格予算で編成することといたしました。併せて、町行政運営に必要とされる経費について所要の措置を講じました。

その主な内容についてご説明申し上げます。総務費関連では、安心な暮らしと住み良いまちづくりを目指し、防災機能のさらなる充実に向けた施設整備に要する費用、子どもの成長を全町民で祝う子育て支援に要する費用、また、本年6月に本町において開催いたします、世界で最も美しい村連合会総会兼日本で最も美しい村連合総会に要する経費を計上しました。

民生・福祉関連では、町内において活躍いただいている各福祉団体への助成経費、また、乳幼児から高齢者までの健康の維持・増進を図るべく各種健診に要する経費を計上し、児童福祉においては、ニーズに対応した保育環境体制の充実を盛り込み保育所管理運営経費を計上しました。

農林業関連では、農村地域資源の良好な保全・質的向上を目的とし、昨年より実施しています多面的機能支払交付金事業や本年より実施します町営白金牧場の管理運営経費を計上しました。また、再生可能エネルギー施策のひとつとして、しろがねダム導水路を利用した小水力発電の実施検討経費を計上しました。

商工業及び文化振興関連では、観光振興として丘めぐり周遊バスの試験的運行や観光スポットである青い池の周辺道路混雑解消への取組み、観光施設の設備充実に要する経費を計上しました。また、ヤフー社員等の研修施設として活用する地域人材育成研修施設の管理運営経費や郷土資料館建設事業などの経費を計上しました。

社会資本整備関連では、継続して実施している美沢17線道路改良舗装事業、朗根内上俵真布線道路改良舗装事業など、また、公園事業では憩ヶ森公園改修事業を引き続き実施いたします。また、冬期間の快適な生活に必要な雪寒建設機械の更新費用を計上しました。

住宅環境の整備については、東町団地改修事業を継続的に実施し、昨年建設しました北町団地1号棟の外構整備を行います。

教育分野においては、児童生徒一人一人の特性にきめ細かく対応するべく、教育助手及び教育専門員の配置を町独自の施策として引き続き実施します。また、平成25年度より実施しています学校給食の無償化についても継続して行い、教育的負担の軽減を図ります。計画的に実施しています学校施設の改修については、本年美瑛小学校、明徳小中学校の改修事業費を計上しました。

これらの方針に基づいて編成した結果、一般会計94億5,500万円、5特別会計5億1,142万8千円、2公営企業会計18億363万3千円、合計117億7,006万1千円の予算となりました。以上であります。よろしくお願いを申し上げます。

○議長（齊藤 正議員） これから議案ごとに提案理由の説明を求めます。

まず、議案第14号について提案理由の説明を求めます。

（「はい」の声）

はい、石井総務課長。

（総務課長 石井 典夫君 登壇）

○総務課長（石井典夫君） おはようございます。議案第14号の提案理由につきましてご説明を申し上げます。美瑛町各会計予算書の1頁になります。一般会計予算につきましては、予算編成方針を踏まえまして編成したところでございます。総額では94億5500万円となり、

平成26年度当初予算と比較しますと8億1千万円、7.9%の減額となりました。それでは議案条文を朗読し、その後ご説明を申し上げたいというふうに思います。

(議案の朗読を省略する)

それでは最初に各会計予算説明書の4頁をお開き願います。

一般会計予算の説明につきましては、抜粋して読み上げ説明とさせていただきます。

(各会計予算説明書の朗読を省略する)

続いて、予算書に戻ります。2頁の第1表から説明をいたします。

(説明文の記載を省略する)

以上、平成27年度的美瑛町一般会計予算、歳入歳出それぞれ9億4,550万円についてご提案をさせていただきます。ご審議のほどよろしくお願いをいたします。

○議長(齊藤 正議員) 次に、議案第15号について提案理由の説明を求めます。

(「はい」の声)

はい、藤原保健福祉課長。

(保健福祉課長 藤原 悟君 登壇)

○保健福祉課長(藤原 悟君) おはようございます。議案第15号の提案理由につきましてご説明を申し上げます。各会計予算書の177頁をお開き願います。平成27年度的美瑛町国民健康保険特別会計予算につきまして、朗読をもってご説明をさせていただきます。

(議案の朗読を省略する)

次に、別冊の各会計予算説明書により説明申し上げます。説明書の29頁をお開き願います。朗読をもって説明に代えさせていただきます。

(各会計予算説明書の朗読を省略する)

以上で議案第15号の提案を終わります。よろしくお願いをいたします。

○議長(齊藤 正議員) はい、そのまま。

次に、議案第10号について提案理由の説明を求めます。

藤原保健福祉課長。

○保健福祉課長(藤原 悟君) では、議案第16号の提案理由についてご説明申し上げます。各会計予算書の189頁をお開き願います。平成27年度的美瑛町老人保健施設事業特別会計予算について、朗読をもってご説明させていただきます。

(議案の朗読を省略する)

次に、別冊の各会計予算説明書によりご説明を申し上げます。説明書の30頁をお開き願います。30頁です。朗読をもって説明に代えさせていただきます。

(各会計予算説明書の朗読を省略する)

以上で議案第16号の提案を終わります。よろしくお願いを申し上げます。

○議長（齊藤 正議員） 次に、議案第17号について提案理由の説明を求めます。

（「はい」の声）

はい、大西農林課長。

（農林課長 大西 能正君 登壇）

○農林課長（大西能正君） おはようございます。それでは私の方から議案第17号の説明をさせていただきますと思います。平成27年度美瑛町水力発電事業特別会計予算について、ご説明を申し上げます。予算書の200頁をお開きをいただきたいと思います。初めに議案を朗読いたします。

（議案の朗読を省略する）

次に、別冊各会計予算説明書の31頁をお開きをいただきたいと思います。以下、朗読をもって説明に代えさせていただきます。

（各会計予算説明書の朗読を省略する）

以上で平成27年度美瑛町水力発電事業特別会計予算の説明を終わります。よろしく願いいたします。

○議長（齊藤 正議員） 次に、議案第18号について提案理由の説明を求めます。

（「はい」の声）

はい、今野水道整備室長。

（水道整備室長 今野 聖貴君 登壇）

○水道整備室長（今野聖貴君） おはようございます。それでは予算書の216頁をお開き願います。平成27年度美瑛町白金泉源事業特別会計予算について、提案理由の説明を申し上げます。先に議案条文を朗読いたします。

（議案の朗読を省略する）

次に、別冊の各会計予算説明書の32頁をお開き願います。朗読をもって説明に代えさせていただきます。

（各会計予算説明書の朗読を省略する）

以上、平成27年度白金泉源事業特別会計予算の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（齊藤 正議員） はい、そのまま。

次に、議案第19号について提案理由の説明を求めます。

今野水道整備室長。

○水道整備室長（今野聖貴君） 続きまして、平成27年度の美瑛町公共下水道事業特別会計予算について、ご説明申し上げます。予算書の232頁をお開き願います。平成27年度美瑛町公共下水道事業特別会計予算について提案理由の説明を申し上げます。先に議案条文を朗読い

たします。

(議案の朗読を省略する)

次に、別冊の各会計予算説明書の33頁をお開き願います。朗読をもって説明に代えさせていただきます。

(各会計予算説明書の朗読を省略する)

次に、予算書に戻りまして、予算書の235頁をお開き願います。

(説明文の記載を省略する)

以上、平成27年度公共下水道事業特別会計予算の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願ひ申し上げます。

○議長(齊藤 正議員) はい、そのまま。

次に、議案第20号について提案理由の説明を求めます。

今野水道整備室長。

○水道整備室長(今野聖貴君) 続きまして、予算書の255頁をお開き願います。平成27年度美瑛町水道事業会計予算について、提案理由の説明を申し上げます。先に議案条文を朗読いたします。

(議案の朗読を省略する)

次に、別冊の各会計予算説明書の35頁をお開き願います。朗読をもって説明に代えさせていただきます。

(各会計予算説明書の朗読を省略する)

以上、平成27年度水道事業会計予算の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願ひ申し上げます。失礼いたしました。一部議案の訂正をお願いいたします。255頁をお開き願います。業務量の予定量、第2条第4号、主な建設工事の次に立米の記号が入ってます。この記号をですね削除のほど願ひたいと思います。大変申し訳ございません。よろしくお願ひ申し上げます。第4号主な建設工事のすぐ右隣に単位記号で立米、立方メートルの記号が入ってるかと思ひます。この記号の削除のほど、よろしくお願ひ申し上げます。大変失礼いたしました。

○議長(齊藤 正議員) 次に、議案第21号について提案理由の説明を求めます。

(「はい」の声)

はい、古本町立病院事務局長。

(町立病院事務局長 古本 彰君 登壇)

○事務局長(古本 彰君) おはようございます。各会計予算書の283頁をお開き願います。議案第21号、平成27年度美瑛町立病院事業会計予算につきまして、朗読をもって説明に代えさせていただきます。

(議案の朗読を省略する)

次に、別冊の予算説明書をお開き願います。38頁をお開き願います。病院事業会計予算説明でございませう。7行目より朗読をもってご説明申し上げます。

(各会計予算説明書の朗読を省略する)

以上で、議案第21号の提案理由の説明を終わります。よろしくお願ひ申し上げます。

○議長(齊藤 正議員) これで8案件についての提案理由の説明を終わります。

○議長(齊藤 正議員) 11時まで休憩いたします。

休憩宣告(午前10時44分)

再開宣告(午前11時00分)

○議長(齊藤 正議員) 休憩前に引き続き会議を開きます。

これから質疑を行います。

8案件に関連する事項について総括質疑を許します。

質疑ありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで8案件に関連する総括質疑を終わります。

次に、議案第14号についての総括質疑を許します。

(「はい」の声)

はい、11番角和議員。

(11番 角和 浩幸議員 登壇)

○11番(角和浩幸議員) 11番です。私は、平成27年度一般会計予算案について総括質疑をさせていただきます。本年は、町長並びに町議会議員の改選期となりますことから、本予算はいわゆる骨格予算として組まれたものであるとの説明がございました。しかし、その内容を見ますと、かなりボリュームのある予算ではないかなと思っております。確かに、久しぶりに100億円を超える大型予算になりました前年度予算と比べますと、前年比7.9パーセントの減となっています。ところが、過去5年間での比較をいたしますと、平成26年度予算に次ぐ2番目の規模の予算となっております。平成23年から25年度までの予算は全て80億円台の当初予算で推移しておりますが、この90億円台を超えるという予算は、ここ5年間で昨年に続き2番目でございます。もちろん予算は、時期の経済状況により大きく左右されるものでございますから、一概に予算額だけでどうだということは論じることはできませんが、例えば一つの目安ではございますけれども、この27年度予算案は過去5年間の中で見ますと、税等の一般財源の見込み額、一般財源見込み額としてはですね5年間の中で最も少ない額の見込みとなっております。そのような中で、5年間の中で2番目の規模の予算を組まれたということは、骨格予算という点、その考え方からは踏み込んだものになっているのではないかなと思わざるを得ないところでございます。総括質疑でございますから、一つ一つの個別事業の中

身について言及することは避けませんが、これも例えばですが、これまで毎年行われてきました、継続中である道路の改良の工事につきましても幾つかが予算計上されていない。そういった面の一方で、町民の間でも議論を呼ぶのではないかと思います大型の新規事業が計上されております。骨格予算の持つ意味合い、性格からは、いささか疑問を感じるころでもございます。そこで2点お伺いをいたします。1点目は、ただ今申し上げたことそのものでございますけれども、今回の骨格予算という意味合いで編成されました、この予算編成に当たりましての町長が念頭に置かれた方針やお考え方をお伺いいたします。

2点目は、町民ニーズの把握についてでございます。どのような予算を組まれても100パーセントの町民が満足すると、そういうようなものはないと思っております。その中でも、町民のニーズを汲み上げていかなければならないということは言うまでもございません。今予算を編成するに当たりまして、どのような形で町民の思い、ニーズ、あるいは町民の方というものが難しいのであれば、町民に最も近い現場の職員さんの声を汲み上げられてこられたのか、この2点についてお伺いいたします。以上です。

(「はい」の声)

○議長(齊藤 正議員) はい、浜田町長。

(町長 浜田 哲君 登壇)

○町長(浜田 哲君) 角和議員より、平成27年度の一般会計についての総括質疑がございました。いろいろな考え方がありますが、基本的には先ほど申し上げましたとおり、経常的な部分についての提案はさせていただきます。それから、継続性を持って事業に取り組んでいるものをやらせていただきますよと。それから国の制度変更等、制度の中で当初から提案させていただけるようなものについては、提案をさせていただくということで進めさせていただいています。当然、住民の方々の意向、住民の方々が町の中でできるだけ安全に安心して暮らしていただきたい。また一方では、経済活動というようなものもまちづくりの大きな要素でありますから、そういった部分についても適正に多くの方々に理解していただけるような骨格予算でありたいということで提案をさせていただいたところであります。具体的なものとしましては、郷土資料館につきましてはもう何年も議員さんと協議をさせていただいて、説明もさせてきていただいています。議員さんのからも意見をいただいておりますし、国の予算等につきましてもこういう形で進めさせていただきたいと、国と協議をずっとしてきているものであります。国の予算等についても了解をいただいている中で、これをですね提案させていただくということは継続性のことだというふうに考えているところでもあります。それから、例えば丸山等の事業につきましても昨年から事業を行って金額的な大きいものではありませんけれども、これについても住民の方々にご理解をいただき、継続して進めさせていただくということでありますから、こういった部分についてもご理解をいただけるものであるというふうに思っています。ま

た、農業関係におきましても約2億円ぐらいの金額になりますけども、多面的な機能支払交付金事業等も当初予算で計上させていただいています。昨年は、こういった予算については補正予算で国の事業等の方向性もあり、計上については当初からしておりませんでしたけども、こういったものにも計上させていただいているところでもあります。予算の審議の中でもいろいろと答弁を申し上げますけども、基本的にはそういう考えで進めさせていただいているということでもあります。また一方、先ほども予算編成方針の中で述べさせていただきましたけども、民生福祉関連におきましても町におきましては子育ての環境、また福祉団体への支援等、丁寧に積み上げて予算をこれまでも組み立ててきております。こういった部分について組み立ててまいりましたものをさらに継続して、住民の方々が安心して子育て、また町の中で暮らしていただきたいという思いを計上させていただいています。例えば農業予算、しかし一方で農業予算と実は今国の中で動いている事業等について農協さんの方からも提案し、いろいろとまた計上を肉付け予算で、またいろいろと審議されるものになるかというふうに思っていますけども、そういった部分については当然議員の方々の論議をいただくべく計上していないわけでありませぬ。また一方で災害関連につきましても、これもまたやはり予算は国の方でもある程度枠を見ているということでもありますけども、町といたしましては議員の皆さん方とまた町民の皆さん方と新たにご審議をいただく部分については、当然肉づけ予算の中で検討させていただくということで計上させていただいています。こういったことで計上させていただいている、予算を提案させていただいているということでご理解をいただきたいというふうに思っています。以上であります。

(「はい」の声)

○議長(齊藤 正議員) はい、11番角和議員。

○11番(角和浩幸議員) ご意見を賜りました。細部はそれぞれの事業の中身にもなりますので、今後の予算委員会等で質問をさせていただきたいと思ひまして終わります。

○議長(齊藤 正議員) はい、他に質疑ありませんか。

(「はい」の声)

2番、森平議員。

(2番 森平 真也議員 登壇)

○2番(森平真也議員) はい、2番森平です。私も同じく一般会計の予算について伺いたいと思います。ただ今、角和議員の質問と重複する内容もあるかと思ひますけどもお許しをいただきたいと思ひます。先ほど町長から予算編成方針について説明がございました。その中で述べられたとおり、今年には町長、議員ともに選挙の年でありまして、平成27年度の予算は経常的経費、また継続的な施策事業中心とした骨格予算であるということでごございました。しかしながら予算の内容を見ますと、新たな郷土資料館の建設事業3億8千万円が盛り込まれておりま

す。数年にわたり休館状態になっている郷土資料館のリニューアルに大きな期待を持つところでありますけれども、先日、説明を受けた内容によりますと、資料の展示スペースだけではなく、コミュニティスペース、ギャラリー、キッズコーナーなど、現在建設中の商店会コミュニティ施設と重複するような機能が追加され、また改に天文台が盛り込まれるといったように、それに伴って事業費も昨年実施設計前に説明を受けていた2億円という事業費から倍近く膨らみ、事業内容が大きく変わったというふうには言わざるを得ません。先ほど町長は十分に議論をしてきたとおっしゃいましたが、このような形で説明を受けたのは先日一度受けただけで、町長との議論はまだされていないという状況です。これだけ大きな事業内容の変更があったわけですから、町民に対してしっかり説明責任を果たす必要があるのではないのでしょうか。選挙の年であり骨格予算としたというのであれば、町長、それから我々議員ともに、この事業に対する立場をきちんと示した上で町民の審判を受けて、今後4年間の付託と責任を負ったメンバーで、この審議、決定をしていくべきだというふうに思います。この事業の振興に当たっては、例えば改選後すぐの臨時会、あるいは6月定例会でも遅くはないのではないのでしょうか。個別事業に絞ったような聞き方になってしまいますけれども、あくまで予算の編成方針という観点から平成27年度当初予算に郷土資料館を盛り込んだ考え方について伺いたいと思います。

(「はい」の声)

○議長(齊藤 正議員) はい、浜田町長。

(町長 浜田 哲君 登壇)

○町長(浜田 哲君) 総括質疑に森平議員よりの質問、答弁を申し上げます。どこまでが継続性の部分かということについて、これもまた判断の違いもいろいろあると思います。議員さんの判断については、そういう判断だということではありますが、我々はもう図書館も壊して郷土資料館が無くなって何年にもなっております。そして、町民の方からも議員の皆さん方からも郷土資料館どうするんだということで、今までも論議をしてまいりました。また、場所についても壊させていただき、その予算にも使わせていただいて、そして場所等の確定もしたところでもあります。私としては、この予算については継続的な建設だということを判断して計上させていただきます。以上であります。

(「はい」の声)

○議長(齊藤 正議員) はい、2番森平議員。

○2番(森平真也議員) 分かりました。町長の考えは理解いたしました。まだまだ伺うことあるんですけども事業の詳細になってしまいますので、一般質問あるいは予算委員会の中でこの事業の考え方についてお聞きしたいと思いますので、この場では終わりたいと思います。

○議長(齊藤 正議員) はい、他に質疑ありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで議案第14号について総括質疑を終わります。

次に、議案第15号について総括質疑を許します。

質疑ありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで議案第15号についての総括質疑を終わります。

次に、議案第16号についての総括質疑を許します。

質疑ありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで議案第16号についての総括質疑を終わります。

次に、議案第17号について総括質疑を許します。

質疑ありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで議案第17号についての総括質疑を終わります。

次に、議案第18号について総括質疑を許します。

質疑ありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで議案第18号についての総括質疑を終わります。

次に、議案第19号についての総括質疑を許します。

質疑ありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで議案第19号についての総括質疑を終わります。

次に、議案第20号について総括質疑を許します。

質疑ありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで議案第20号についての総括質疑を終わります。

次に、議案第21号についての総括質疑を許します。

質疑ありませんか。

(「なし」の声)

質疑なしと認めます。これで議案第21号についての総括質疑を終わります。

お諮りします。ただ今一括議題となっています議案第14号から議案第21号までの8議案の審議については、議長を除く13名の委員で構成する平成27年度美瑛町議会予算審査特別委員会を設置して付託審査することにしたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「なし」の声)

異議なしと認めます。したがって、ただ今一括議題となっています8議案の審議につきましては、議長を除く13名の委員で構成する平成27年度美瑛町議会予算審査特別委員会を設置し付託審査することに決定しました。

休憩中に予算審査特別委員会を開催し正副委員長の互選をお願いいたします。

○議長(齊藤 正議員) しばらく休憩いたします。

休憩宣告(午前11時15分)

再開宣告(午前11時35分)

○議長(齊藤 正議員) 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

休憩中に平成27年度美瑛町議会予算審査特別委員会の委員長及び副委員長の互選が行われましたので、その結果を報告します。

平成27年度美瑛町議会予算審査特別委員会の委員長に9番穂積力委員、副委員長に4番杉山勝雄委員、以上の通りであります。

散会宣告

○議長(齊藤 正議員) 以上で本日の日程は全部終了しました。

お諮りします。

3月4日から3月15日までの12日間は議事整理等のため本会議を休会したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「なし」の声)

異議なしと認めます。したがって、3月4日から3月15日までの12日間は議事整理等のため本会議を休会することに決定しました。

なお、予算編成方針に対する質問など一般質問の通告書の提出期限は3月4日正午までいたします。質問者は事務局へ提出願いたいと思います。

○議長(齊藤 正議員) 本日はこれで散会いたします。どうもご苦労さまでした。

午後11時36分 散会

上記のとおり相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成27年4月20日

美瑛町議会 議長 齊藤 正

議員 齊藤 幸一

議員 八木 幹男